



長尾 義和

人口減少を如何にして止めるか

問 本町の人口は平成10年の1万5千人をピークに減少に転じている。

答 今後の人口動態を見る上で、女性の出産適齢期と言われている20歳から39歳までの人口が重要である。減少すれば、出生率が少し増加しても総人口の減少は止まらない。この世代の人口動態を把握しているか。

問 人口減少ストップを選挙公約に掲げられていたが、町長自身の後援会の資料では2035年には7千5百人にまで減少すると言われている。矛盾していると思わないか。

各年3月末現在	平成10年	平成25年	減少率
総人口	15,010人	11,646人	▲22.4%
20～39歳の女性人口	1,920人	1,002人	▲47.8%
総人口に占める割合	12.8%	8.6%	

答 いろいろな統計資料を見て、現状から予測した。

問 人口減少を止めるため、あらゆる手段を実行するとされているが、具体的な施策は。

一、人口減少を如何にして止めるか 二、教育関連施策を問う

答 町づくりの源泉は人と考えている。住民が町に對する自負と愛着を育てていくことが施策の根底になければならない。

問 町づくりの源泉は人と考えている。住民が町に對する自負と愛着を育てていくことが施策の根底になければならない。

① 能勢高校について

問 新学校の説明会で能勢高校が、平成29年度に新学科を創設すると聞いたが、説明願いたい。

答 現在の総合学科を平成29年度をめどにグローバルな人材を育成するための(仮称)「国際コミュニケーション科」と地域社会で活躍できる人材を育成するための(仮称)「地域創造科」の2つに改編しようとして、現在府教育委員会が検討している。

② 新学校名の公募について

問 平成28年4月開校に伴う校名の公募が行われたが、9月定例会での説明では、小中学校それぞれ

の愛称を公募すると聞いていたが、公募内容となぜ違うことになったのか。

答 平成25年10月16日に開催した「新学校校名・校章・校歌検討委員会」に諮り、小学校名、中学校名及び小中学校を合わせた愛称について、公募することになった。議会での説明が不十分であったことを、申し訳なく思っている。

③ 学校の耐震化について

問 平成25年11月25日に建築物の耐震化の促進に関する法律及び政令の改正が施行されたが、今後どう対応していくのか。

答 法律、政令の改正後1次診断も耐震診断済みとみなされ、すべての小中学校は耐震診断実施済みとなった。耐震工事については子どもたちの負担、投資効果、工期等を考えると断念せざるを得ない。今後、小中学校の跡地利用の必要性があれば利用方法も含めて建物の安全性を確認していく。

一般質問



中植 昭彦

オープンデータの活用をすませ民間活力を活かしたまちづくりを!

問 行政が所有している公共データ(統計情報や各種情報など)を公開し、民間活力を活かしたまちづくりを検討してはどうか。

答 政府や自治体が保有する公共データをインターネット上に公開し、企業などが二次利用することで新たな住民サービスの創出が期待されるものであると認識している。国においても昨年7月電子行政オープンデータ戦略が策定されている。他自治体においても先進的な取組みが始まっている。国、地方等の動向を注視し研究を深めてまいりたい。

問 例えば、本町の名所旧跡、観光スポットの位置情報を公開することにより、カーナビゲーションのランドマークに登録をされる。また、文化財、文化の映像を公開することによってテレビ等で放映されやすくする等、交流人口増加に色々な活用が見込めるが、認識は。

答 観光部局とも連携しながら前向きに検討して

- 一、オープンデータの活用で活性化を!
- 二、自治体クラウドを導入しデータの保全と経費の削減を!
- 三、ゆるキャラでまちの活性化を!
- 四、新学校の通学安全対策を!

まいりたい。

自治体クラウドで行政データの保全と経費の削減を!

問 行政業務の多数を電算処理しているが、データの保全、管理について伺う。また、電算処理コストの低減を同時に図れる自治体クラウドを導入してはどうか。

答 25年6月に閣議決定された世界最先端IT国家創造宣言の中で、自治体クラウドについて今後4年間を集中取り組み期間と位置づけ、地方公共団体における取組みを加速するとされている。また、指摘があったように電算処理にかかる経費は増加している。経費圧縮、高効率化の観点からも積極的に研究、検討してまいりたい。

問 観光振興、交流人口の増加を図るため、プロモーションが必要だと考えるが。

答 地域資源を有機的に結びつけることで、観光産業の裾野の拡大に取組む。また指摘の能勢というまちをプロモーション

し、情報発信を戦略的に実行していくことが重要である。

問 例えば、ゆるキャラやPV(プロモーションビデオ)の製作を行い、ネットへ公開、イベントへの参加など積極的に行ってはどうか。

答 他自治体においても積極的な取組みがされている。また、能勢町の活性化、PRを図るひとつのアイテムであると考ええる。イベントにおいて、子どもたちが喜ぶのは間違いない。みんなで一緒に盛り上げてまいりたい。

新学校の通学安全対策を!

問 少子化の影響で、登校班も少人数になることが想定される。他議員からも提案されている防犯カメラを、通学安全対策の観点からも設置してはどうか。

答 現在、資料を収集し、他町の事例を調査している。費用面も検討し、何らかの形で結論をだす。